

画像診断科 検査はわかりガイド(CT編)

CT検査とは？

CTとは、Computed Tomographyの略で、日本語ではコンピュータ断層撮影法と言われます。人体に多数の方向からX線を照射し、体から通り抜けてきたX線を検出器で読み取り、得られたデータをコンピュータで計算して輪切りの画像(断面画像)にします。それを重ね合わせることによって、立体的な画像を作ることができます。

当センターには検出器が多数あるマルチスライスCTが設置されており、従来のCTに比べて、撮影時間を短縮することが可能になりました。

検査を受けるにあたって

検査では、撮影する部位により、食事制限を頂く場合があります。また、検査では血管や臓器をより見やすくするために造影剤という薬を静脈に注射し、撮影する場合があります。

造影剤により、まれに副作用が発生する場合がありますので、検査中に気分が悪くなったときはお知らせください。

ペースメーカーを装着されている方、妊娠中、または妊娠の可能性のある方は事前に医師または担当者にご相談ください。

以下のものは写真に写り画像診断の妨げになりますので外して頂きます。また、必要に応じて検査着に着替えて頂く場合があります。

ヘアピン、イヤリング、メガネ、補聴器、入れ歯など(頭部・頸部撮影)

ネックレス、ブラジャー、ファスナーなど金属のついた衣類、使い捨てカイロ、ライター、財布、鍵など(胸部・腹部撮影)

検査の様子

CT装置の検査台に仰向けで寝て頂きます。次に検査代がスライドし、丸いドーナツの入り口の中に入っていきます。

検査中は身体を動かないようにしてください。また撮影する部位によっては、両腕をあげて数秒間、息を止めて頂くことがあります。

造影検査を行う場合は、検査の途中で手や腕の静脈に注射をして、造影剤を注入しながら検査をさせていただきます。撮影終了後、検査台が元の位置に戻りましたら、検査は終了です。



検査にかかる時間

検査時間は、撮影する部位、検査内容、造影剤の注射の有無によって変わりますが、5分から20分程度です。

